

8/21 早稲田

2015-8-21

論説

武藤貴也衆議議員が自民党を離党したのは金銭トラブルの発覚が理由だが、安全保障法制関連法案に反対する学生等による「利己的考案」と批判したことで聞き逃さない。離党で幕引きは許さない。

安保法案の国会成立のためには、野党側に攻撃材料は極力与えたくなかったのだろう。

武藤氏は「フライング」に関する件で党にこれ以上迷惑をかけるれない」として離党届を提出し、自民党はきのう離党を了承した。

フライングに関する件とは、週刊文春が報じた未公開株をめぐる金銭トラブルだ。同誌によると武藤氏は昨年、知人らに「帳上がり確実な新規公開株を国会議員枠で買える」と持ち掛け、二十三人から約四千万円を集めたが、実際には株は購入されず、出資金の一部も返済されていないという。

事実だとすれば、かつてのリンルート事件を想起させる醜聞だ。罪に問われる可能性もある。武藤氏は「一方的かつ事実と異なる」と反論するが、何が事実で何が事実でないのが、武藤氏には進んで国民に説明する責任がある。

国会も本人任せにせず、自浄機能を示す必要がある。当面は、国会に参考人招致したり、原則非公開で偽証罪に問われない政治倫理審査会（政倫審）で説明させるのが、現実的な方法だ。

もつと、フライングに関する件とは別に、武藤氏には国会議員の適格性が疑われるツイッターでの発言があり、不問に付すことはできない。安保法案反対の学生「千名」による戦争に行きたい、極端な利己的考案に賛成し、など批判した人々だ。

学生たちの「戦争に行きたい」などという主張の代り、利害関係に基いて参戦する戦争に進んで行きたいというものが。

武藤氏の発言は安保法案を「戦争法案」と認めたことでもある。政権幹部は昔々へ感じていたに違いないが、武藤氏は発言を撤回してあります。自民党執行部も発言を撤回しなさい、撤回させなさい、と求めています。

離党をすれば、武藤氏とは無関係になるから安保法案の審議には影響ない、これで幕引きができるだけでも、安倍政権は考えてこのがのたのたか、勘違いも甚だしい。

武藤氏の言動で迷惑をこうしているのは自民党でなく国民だ。離党だけでは何の問題解決にならないう、強行してもきた。

武藤氏自民離党 幕引き許さぬ デモ批判